

〜元気の出るエピソード〜

私が、当院に入職して感動したことは患者様からの「ありがとう」の言葉です。作業療法士として働き始めてからの期間も短く、まだまだ未熟な私ですが、作業療法士介入後や、介助のお手伝いをした後にこの言葉を言って頂けることに感動し、作業療法士になって良かったと感じています。また、患者様が会話や介入を通して笑顔になれることも、作業療法士として働いている中で、心の糧となっています。

学生時代から、実習を通して患者様と関わる機会がありましたが、資格を取り実際に作業療法士として働くことでより大きな責任が生じます。そのため、常日頃からどのようなアプローチが患者様にとってより良いものなのか考えなくてはならず、勉強が続けいかなくてはならないと強く実感しています。今後、働いていく中で責任と自覚をもって行動し、患者様から信頼され、頼って頂けるような人物になれるよう、日々精進していきたいと思っています。

作業療法士 加藤 大貴


私は仕事上、病棟にお茶を配膳に行く事が多いです。「お茶お持ちしましたー!!」とスタッフさんに声を掛けるのですが、スタッフさんが忙しく、返事がない時でも、患者様が、『は〜い、ありがとう〜!!』や、『お茶だつてよ〜!!』と返事をしてくれます。お昼ご飯の直前のお茶の時には、『腹へった〜!!』や『お茶じゃ嫌だ』という声も聞かれます。その声を聞くと、こちらとしては、毎日時間に追われ配膳に間に合わず事に一生懸命になってしまう事が多いのですが、患者様にとっては一食一食が待ち遠しい大切な食事なのだと感じます。患者様が楽しみに待っているという事を頭に置き、これからは楽しくて美味しい食事作りに邁進して行きたいと思っています。

QOL推進部栄養科 針ヶ谷 夕美

診もり短歌

胃ろうをつけ元気を
とりもどした人
胃ろうをつけ
妻の存在気づきしと
Dr.ねぎし
老いし夫は本音をあかす

医療法人社団 心の絆
認知症専門病院 **蓮田よつば病院**
私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→ 

よつば 通信 12月号

発行日 平成30年12月15日

平素より当院の診療にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。平成二十一年に「大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくる」を理念に開院して、十年を迎えようとしております。

高齢化社会から、超高齢化社会になり認知症をめぐり世の中の動きも活発になってきました。認知症サミットが開催され、2025年（平成三十七年）までに認知症を克服しようとの提唱されています。在宅・訪問診療の充実や新オシロンシプラン（認知症の方の意志が尊重され、出来る限り住み慣れた地域の実現する環境で自分らしく暮らし続けることができ、発表した5カ年計画）が作られ、認知症の患者さんが介護施設や医療機関だけで対応にならないよう、地域包括ケアシステムが作られました。当院も微力ながら一助にと、歩んでまいりました。

私が日常の診療において、患者様やご家族様との話し合いがなされたことを一つ挙げますと、「難聴」に対して、あまり気にされていらっやらない方が多いようです。難聴があり、話を正確に理解できない

● 話しが正確に理解できない
● テレ ビ ・ ラジ オ ・ 音 楽 に 無 関 心
● 人 に 会 う の が 面 倒
● 物 事 が 消 極 的 に な る
● 上のことが、つながり、認知症症状を進めてしまうのです。

難聴について、お気をつけください。今後とも、どうぞよろしく願ひ申し上げます。これからも患者様やご家族様を支えてまいります。

蓮田よつば病院
精神保健指定医 安西 崇

外衆案内

診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 認知症 外来	鈴木	安西	安西	鈴木	鈴木 or 安西	休診
	根岸					
一般 内科						
午後(新患のみ)	休診	鈴木	休診	安西	休診	休診

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

受付時間		診療時間		面会時間
午前	午後	午前	午後	午後
8:45~11:30	13:00~15:00	9:00~12:00	14:00~17:00	14:00~17:00

蓮田よつば病院
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話:048-796-5157

蓮田よつば病院
デイケアわかば

～初めて外来を受診される方～

お電話での予約が必要になります
患者様治療のために



- ・紹介状（診療情報提供書）
- ・お薬手帳の持参をお願いしています

ご協力をお願いいたします

予約時間の変更等につきましては、午前中診療のため、13時以降に外来にお電話下さい
○休診日○
土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市
認知症カフェ
はすカフェ
電話:048-765-7777 (蓮田よつば病院)

よつばのおいしいご飯

献立
主食:ご飯
主菜:秋刀魚の薬味ポン酢
副菜:いんげんの白和え
副菜:里芋と豚肉の煮物
汁:清汁(たけのこ)

※写真は職員食になります。

栄養価
エネルギー:583kcal
たんぱく質:23.7g
脂質:21.1g
塩分:3.4g

食材にはそれぞれにおいしい季節、「旬」というものがあります。秋は特に、旬の食材が多く出回る季節です。昔から秋の旬の食材と言えば秋刀魚を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。当院でもこの季節には秋刀魚を使った献立を数種類提供させていただきます。季節を感じることも刺激となり、認知症の治療に効果があると言われています。美味しい秋刀魚を食べ、季節を感じて頂けたのではないのでしょうか。

管理栄養士 水野俊



よつば病院情報



看護研究

『行動心理症状と騒音の関連性を考え環境調整を試み』

A氏は他の患者様の部屋に入りベッド上の整理整頓を行っていました。またベッド周囲や廊下での排泄の失敗や介護抵抗がありました。

病棟中央フロアで過ごしているA氏の発言に「ここは忙しい」と有りました。スタッフ同士の会話を聞いて言葉を復唱することもありました。他の患者様が大きい声を出していると「うるさい」の発言もありました。観察を進めると、発言後の表情が陰しくなりフロアから離れていく行動を繰り返している事がわかりました。

WHO(世界保健機構)の病室の騒音の基準があります。一般病室ですら生活で「静かだ」と感じるのは45db以下であるとされています。看護研究を通して2階病棟の患者様が多く過ごす中央フロアの騒音計を1ヶ月測定しました。日中は常に50dbを超えていました。この騒音レベルは“うるさい～極めてうるさい”レベルとなっていました。

文献によると「騒音等の不適切な環境刺激等のストレスにより、認知高齢者のストレス刺激閾値を超えた場合、混乱や行動心理症状が起こりやすい」と述べられています。

また「周囲の情報を適切に把握することができず、自分に関係する音なのか聞き流すほうがよい音なのかを分別する機能が低下し、少しの音でも気になってしまい混乱につながる」とも述べられています。

騒音計で測定するとスタッフの話し声や患者様の大きな声、テレビの音や配膳時の食器の蓋を回収する音が高値であることを把握しました。そして病棟全体で騒音の軽減に努めていくように他職員にも声を掛けていきました。病棟全体で心掛けると騒音レベルが下がっていきA氏が目立った症状は軽減していきました。

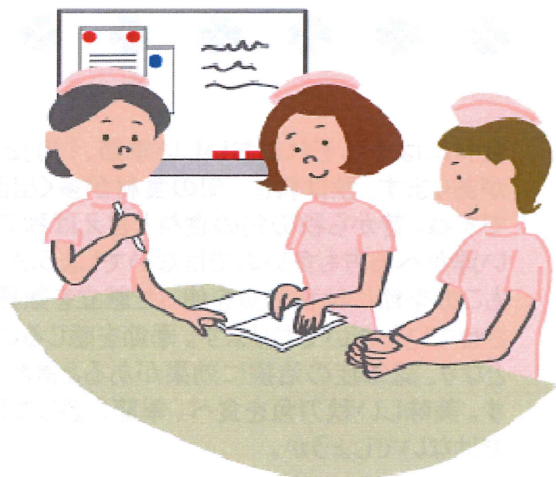
以上の事からスタッフ間の会話も含めた『音』が認知症状に影響していくことを学びました。

私たちは認知症患者様が生活を送る上での困りごとを解決するために、まずは入院環境を整えていく必要があります。

今後も認知症患者さんの上手く言葉に発する事の出来ない心の声を探っていくために患者様の認知症状に影響しやすい病棟環境調整を意識していきたいと思ひます。

2階看護研究チーム

- 渡辺みどり
- 細田恵子
- 折原美佐子
- 渡邊文子
- 小林洋史
- 野呂暁子
- 小林恵梨奈



蓮田よつば病院の 認知症ケア専門士

平成30年 住み慣れた地域で生活するために～当院での取り組み～

今回は、当院の病院方針の一つにもあります「地域と共に考え、貢献します」という部分のお話をしたいと思います。

当院には私を含め7名の作業療法士が在籍しております。私達作業療法士が主となり、毎月第1土曜日に認知症カフェの「はすカフェ」、第3土曜日に「認知症予防教室」を開催しております。こうした地域活動を通して、認知症となっても住み慣れた場所で安心した生活が続けられ、認知症のある方の症状の進行予防、地域にお住いの皆様の発症予防の一助になればと考えております。

多くの方が「認知症になると何もできなくなる」というふうにお考えではないでしょうか。しかし、実際は認知症という診断を受けても出来る事は沢山あり、ご本人が出来る事を生活の中で続ける事、そして周囲の人がその生活を支えていく事で、認知症となっても住み慣れた場所で安心した生活を続けていくことができます。そのため、地域活動の中で①認知症の正しい知識②認知症となっても支え合える街づくりについてお話をさせていただいております。

はすカフェは2年半、認知症予防教室は2年間開催した中で感じたことですが、認知症についてや街づくりのお話は一度では真意が伝わりづらい印象をうけます。地域の方がカフェや教室に通ううちに職員との関係性が築けたり、その関係性の中で私達も地域の皆様にとのようにお伝えしたらわかりやすいか工夫ができたり、手工芸や運動を通じた共通体験により、地域の皆様と認知症予防の街づくりについて共に考えていくことができるようになったと感じております。

この取り組みには、多くの方のご理解とご協力が必要です。今後も地域活動を通して皆様が安心して生活できる地域づくりに貢献して参りたいと考えておりますので、是非一度当院の地域活動にご参加してみてください。

診療技術室 主任
作業療法士 小林祐子

～よつば病院作業療法風景～

音楽療法



運動療法



調理クラブ



今月の予定

今年度ははすカフェは毎月第1土曜日蓮田よつば病院にて開催致します。

- 誕生会 各病棟
3階 随時おこないます
2階 随時おこないます
- 理美容 各病棟
第1・3木曜日
- 調理クラブ
第2月曜日
- お化粧教室 4階フロア
第2・4木曜日
10:30～11:20